感謝をこめて30周年
30th ANNIVERSARY

株主のみなさまへ

第29期報告書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

2009

あなたを想うサイエンス。

FANCL

30th Anniversary FANCL since 1980

ファンケル誕生—健康で美しい素肌を願って—

1970年代後半から80年代にかけて、きれいになれるはずの化粧品で、
逆に多くの女性が肌トラブルを抱えていた時代に、創業者の池森賢二が、
防腐剤や殺菌剤などの保存料が肌トラブルを起こす一因となっていることを究明。
「皮膚トラブルを起こさない安心・安全な化粧品をつくろう」と自らのアイデアで、
世界初の無添加化粧品をつくることを決意します。

小さなバイアル瓶に「安心・安全・やさしさ」への願いを込めて

1982年12月には、世界初の無添加化粧品を通信販売で、全国発売。
そして、サプリメントの通信販売を開始、
その後も青汁、発芽米などの新たな事業に取り組んできました。

海を越えた無添加

1996年の香港での化粧品販売を皮切りに、
現在では、アジアを中心に海外の女性からも
「無添加」のコンセプトに共感・ご支持をいただいています。

今も変わらぬ熱い想い、そして

30周年を迎えた今も、経営理念「もっと何かできるはず」をキーワードに
ファンケルの挑戦は続いていきます。

Message

お陰様をもちまして、当社は今年創業30周年を
迎えることができました。
これもひとえに株主のみなさま、お客さまをはじめ
全てのステークホルダーのみなさまの
温かいご支援・ご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。

不安を安心に、不満を満足に、不便を便利に、不快を快適へ
—創業以来、ファンケルの企業活動の根底にあるのは、
世の中の「不」を解消したいという想いです。
そして、常に安心、安全な、人にやさしい
「製品」と「サービス」の提供に努めてまいりました。

ファンケルにとって、30年は大きな節目の年であり、
新たな目標への出発の時でもあります。
役員はじめ社員一人ひとりが決意を新たに、
新しい市場と価値の創造に、
日々邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては
今後も変わらぬご支援とご理解を賜りたく、
お願い申し上げます。

感謝をこめて30周年 30th ANNIVERSARY

代表取締役 社長執行役員
成松義文

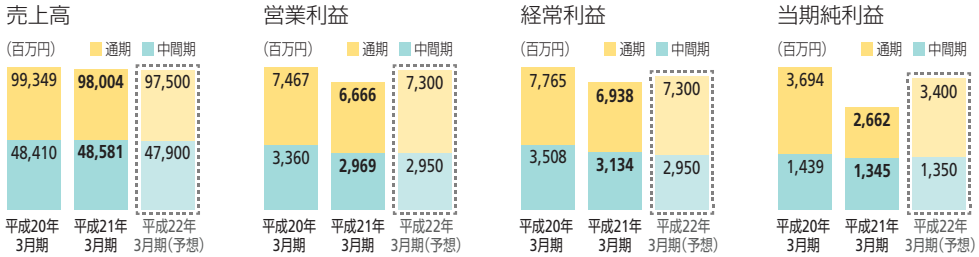
決算のご報告

当期（平成20年4月～平成21年3月）のファンケルグループの連結決算について、ご説明申し上げます。

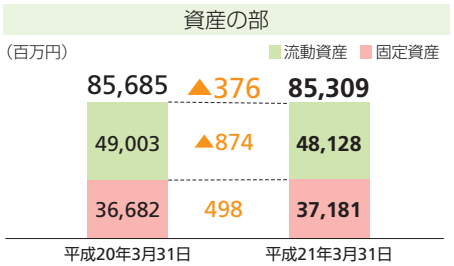
化粧品関連事業は主力製品のリニューアルなどにより好調に推移しましたが、栄養補助食品関連事業やいいもの王国通販事業などその他事業が不振だったことにより、売上高は98,004百万円（前期比1.4％減）となりました。損益面では、マーケティング費用の削減などによりその他事業の赤字額は減少しましたが、化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が減益となったことで、営業利益は6,666百万円（前期比10.7％減）となりました。

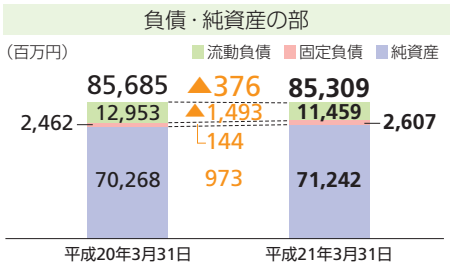
また、当期純利益は、発芽米工場の集約に伴う損失や店舗閉鎖損失の計上などにより、2,662百万円（前期比27.9％減）となりました。

連結損益計算書

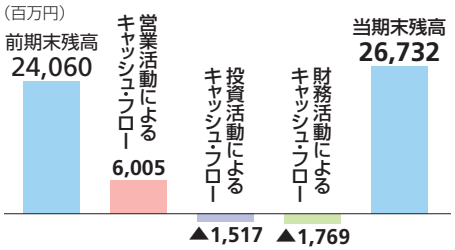


連結貸借対照表





連結キャッシュ・フロー



詳細な財務情報のご案内

当社の財務状況に関する詳細な情報につきましては、当社ホームページ「IR情報」をご覧ください。
「IR情報」では詳細な財務状況がご覧いただける決算短信・有価証券報告書などの各種IR資料のほか、株式情報・株主優待、個人投資家のみなさまへのページなどを掲載しております。

IR情報：http://www.fancl.co.jp/corporate/ir/

◆来期の見通し

当グループは、平成21年3月期を初年度とする新中期三ヶ年経営計画「新しい価値＝感動品質2010」（平成21年3月期～平成23年3月期）を策定し、お客さまとの強い絆づくりと収益性の向上に注力してまいりました。しかし初年度となる当連結会計年度は、経済環境の急激な悪化も影響して売上・利益とも当初計画を下回る結果となりました。現在の中期経営計画の基本戦略を変更することはありませんが、こうした経済環境も踏まえつつ高収益体質への転換をさらに推し進めるべく、平成22年3月期中には各事業の戦略を練り直し、数値目標の見直しを含めて平成23年3月期を初年度とする新たな中期経営計画の策定を行ってまいります。

当社は、平成22年3月期に『創業30周年』の節目を迎えます。引き続き、お客さま視点の徹底と高収益体質への転換を図るとともに、新しい事業・価値創造の具現化を目指してまいります。

平成22年3月期の重要テーマ

お客さま視点の徹底	経費管理の強化	新規事業への挑戦	赤字事業の黒字化
お客さま視点に立った製品開発、サービスの提供を行い、ブランド価値の向上を図ります。	経費管理を徹底して行い、高収益体質への転換を図ります。	新規事業・新サービスの創出は重要課題。事業進出への投資基準・撤退基準の明確化を図ります。	発芽米事業およびいいもの王国通販事業は、事業構造を転換し、黒字化を目指します。

【各事業の戦略】

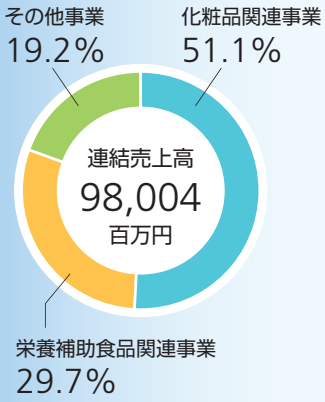
化粧品関連事業	• 機能性を重視した市場競争力のある製品開発により、無添加化粧品市場での国内販売シェアの向上、アジアを中心としたグローバル展開を推進
栄養補助食品関連事業	• 「ファンケル健康食品の安心品質」基準による安全性の訴求 • 製品カテゴリーの再編と製品のスクラップ＆ビルド • 女性向けの美容補助食品と中高年を対象とした製品を強化
発芽米事業	• 工場の集約により大幅に原価を低減し、黒字構造への転換を目指す • 新製品を開発し、通信販売を強化
青汁事業	• 工場の集約により、収益性のさらなる改善を図る • 女性向けの新製品を投入し、通信販売を強化
いいもの王国通販事業	• 本社費、販売費の圧縮を図るとともに、リピート商材を投入するなど事業構造を転換し、黒字化を目指す

【販売チャネル戦略】

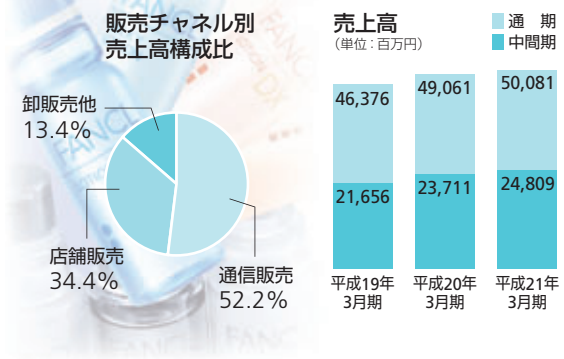
通信販売	• お客さま視点でのマーケティング強化 • 収益性の高いインターネット販売を強化
店舗販売	• 新業態開発とカウンセリングの強化
海外	• 中国を中心にアジア市場開拓の強化 • ブランド浸透のための海外パートナーとの関係強化

当期の事業別の業績をお伝えします。
連結売上高は、98,004百万円（前期比1.4%減）となりました。各事業の売上高は、化粧品関連事業50,081百万円（前期比2.1%増）、栄養補助食品関連事業29,088百万円（前期比3.1%減）、その他事業18,834百万円（前期比7.1%減）となりました。

事業別売上高構成比



化粧品関連事業



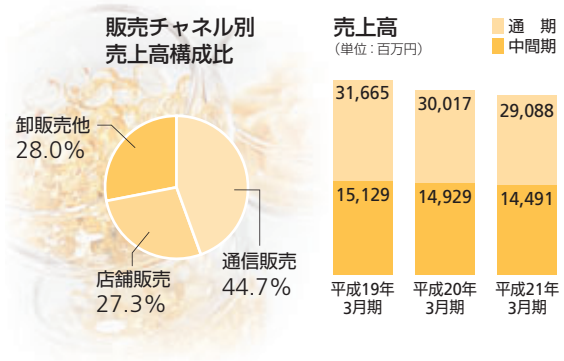
ファンケル化粧品は、リニューアルした基礎化粧品や洗顔パウダー、美容液が好調に推移したことにより、38,394百万円（前期比1.5%増）となりました。

アテニア化粧品は、積極的な広告宣伝活動を行いましたが、お客さま数の増加につながらず、10,489百万円（前期比2.1%減）となりました。

販売チャネル別では、**通信販売**は26,140百万円（前期比0.6%増）、**店舗販売**は店舗数の減少により17,212百万円（前期比2.1%減）、**卸販売他チャネル**は海外向けが好調だったことに加え、OEM販売が増加し、6,727百万円（前期比22.5%増）となりました。

今後につきましては、ファンケル化粧品はリニューアルいたしましたマイルドクレンジングオイルのマーケティングを強化し、新規のお客さま数の拡大を図ってまいります。アテニア化粧品は、創業20周年記念施策を展開し、お客さま満足度の向上を図ってまいります。

栄養補助食品関連事業

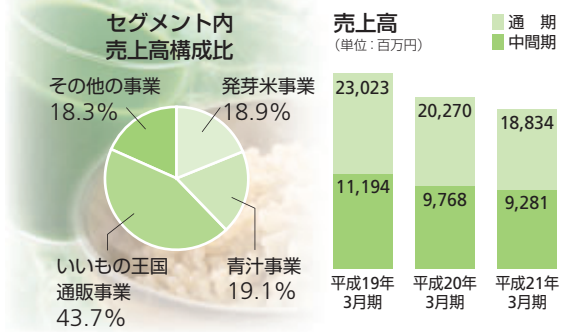


製品面では、積極的なマーケティング活動を行った「HTC®コラーゲン」などビューティサプリメントや中高年をターゲットとした一部製品は好調に推移しましたが、ビタミン、ハーブなどそれ以外の製品群の売上減少をカバーするには至りませんでした。

販売チャネル別では、**通信販売**は13,011百万円（前期比3.7%減）、**店舗販売**は店舗数の減少に加え既存店が不振で7,948百万円（前期比7.9%減）、**卸販売他チャネル**は海外向けが好調で8,129百万円（前期比3.2%増）となりました。

今後につきましては、「ファンケル健康食品の安全品質」を継続して訴求するとともに、製品カテゴリーの再編を行い、お客さま満足度の向上を図ります。また、女性を対象としたビューティサプリメントや中高年向け製品を引き続き強化してまいります。

その他事業



その他事業である発芽米事業、青汁事業、いいもの王国通販事業、肌着事業の売上高は減少しました。その中でも、発芽米事業はコンビニエンスストアのおにぎり、弁当などの業務用は拡大しましたが、お客さま数の減少により通信販売が苦戦いたしました。以上の結果、その他事業の売上高は18,834百万円（前期比7.1%減）となりました。

今後につきましては、発芽米事業は、初めての方でも手軽で便利な「発芽米 スティックタイプ」を定番化し、通信販売を強化してまいります。青汁事業は、美容成分を配合した飲みやすい粉末タイプを7月に発売し、通信販売を強化してまいります。いいもの王国通販事業は、経費面の削減を行い、黒字化を目指します。

特集

春肌カウンセリングフェアの実施

当社は、「お客さま一人ひとりに、本当にお肌のお悩みにあった製品をご使用いただきたい」「店舗スタッフとのコミュニケーションを通して、直営店舗ならではのサービスや楽しさを実感していただきたい」との思いから、肌スコープなどを使用したカウンセリング強化に努めております。

肌スコープで30倍に拡大し、肌状態を診断

平成21年1月8日から2月19日まで、全国のファンケルショップで「春肌カウンセリングフェア」を開催いたしました。店舗スタッフ一人ひとりがカウンセリングフェアの目的と意義を理解し、知識と技術の向上に努め、ホスピタリティあふれるサービスで接客いたしました。お客さまからは、実際にお試しいただきながらのアドバイスは「安心できる」とご好評いただきました。43日間のフェアの期間中にカウンセリングを体験していただいたお客さまは、全国で約11万人に達しました。

今後も、お客さまに喜んでいただける店舗づくりを目指してまいります。

親身で丁寧なカウンセリングで、
スキンケアからメークまでご提案

感動、するん。なのに肌、うるるん。

マイルドクレンジングオイル

当社を代表するロング＆ベストセラー製品のマイルドクレンジングオイル（通称：マイクレ）が平成21年2月、リニューアル新発売いたしました。

新開発「パーフェクトブレンドオイル」が、マスカラなどの落ちにくいメークや毛穴の汚れを、肌から浮かび上がらせ、どんなメークもすっきり落とします。さらに水なじみのよくなったクレンジング成分がオイルを包み込み、ナノサイズまで分散させるので、肌にオイルが残ることなく、スッキリと洗い上がります。また、クレンジング後も肌のうるおいをしっかり残すことにこだわりました。肌にもともと備わっている、うるおう力をガードして、うるおいをキープする「オイルとクレンジング成分のベストバランス」を追求。より肌に負担をかけない「スムースクッションオイル」で、高レベルの使用感を実現しました。

進化の歴史

1997年…メーク落ちがよく、肌に負担をかけない無添加オイルクレンジング。
2002年…ローズヒップオイルを加えてさらに肌にやさしく、サイズも2倍に。
2004年…濡れた手でも使え、利便性がさらにUP。
2009年…パーフェクトブレンドオイルでどんなメークもするん！と落ちる。

ファンケルオリジナル
パーフェクトブレンドオイル

どんな種類のメークにもなじんで浮き上がらせる万能オイル

TVCMイメージカット

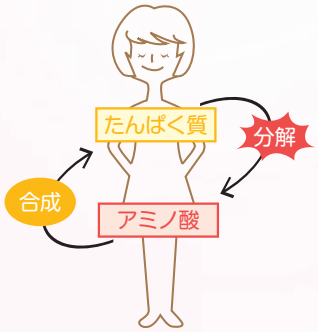
美時（びとき）–BITOKI–

大人の女性のためのアンチエイジングサプリメント「美時（びとき）–BITOKI–」が、平成20年11月の発売開始以来、好調に売上を伸ばしています。「いつまでも健やかで若々しくありたい」と願うマチュア（成熟）世代（40～50代）の女性たちを応援するからだ全体のアンチエイジングに注目した製品です。この世代の女性が感じる、からだ全体の疲れに働きかけるのが、当社独自の新機能成分「活性大豆サポニンB型」。ほかにも「コエンザイムQ10」「HTC®コラーゲン」などを配合し、マチュア世代の健康とキレイを総合的にサポートします。

たんぱく質の代謝サイクル

「合成」をサポートする
コエンザイムQ10

新しいたんぱく質を合成するのに必要なのが、コエンザイムQ10。エネルギーづくりに欠かせず、加齢とともに減少するため、補うことが大切です。



「分解」をサポートする
活性大豆サポニンB型

老化したたんぱく質の分解を、活性大豆サポニンB型が働きかけることを当社が独自に発見。約10年にわたる研究の末、見出した新たな機能成分です。

さらに、大人の女性に必要な成分を配合

美しさのための成分：HTC® コラーゲン、ヒアルロン酸

女性に大切な成分：大豆イソフラボン、ローヤルゼリー

ケールまるごと搾（しぼ）り（粉末）

ケールは「野菜の王様」といわれるほど、栄養価の高い野菜です。当社の青汁は、農家と直接栽培契約を結び、中嶋農法による徹底した土壌改良と管理栽培で育てた国内産ケールを100%使用しています。携帯に便利なスティック包装で、1本当たりケール生葉を約120g使用し、厚生労働省が推奨する1日分の緑黄色野菜をカバー※。粉末特有のザラつき感がなく、搾（しぼ）りたての青汁の本格的な味わいです。

※厚生労働省は1日当たり120gの緑黄色野菜を摂取することを推奨しています。

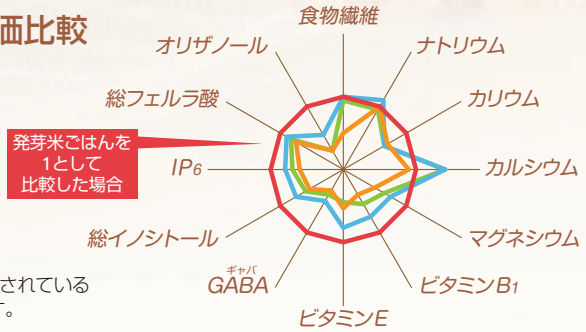
発芽米 スティックタイプ

簡単・便利なスティックタイプの発芽米です。発芽米は、玄米をわずかに発芽させたもの。抗ストレス作用で話題のGABA（ギャバ）をはじめ、食物繊維、ビタミンE、B群など、その栄養価は白米や玄米、雑穀米以上。白米を研いだあとに混ぜるだけで、いつものごはんが健康的にパワーアップします。クセがなく、もちもちした食感は、お子さまや初めて発芽米を試したいという方におすすめです。

発芽米 VS 白米 VS 雑穀　栄養価比較

- 発芽米ごはん（20%）
  ※1合に1スティックいれたもの
- 白米ごはん
- 雑穀16穀ごはん（8%）
- 雑穀5穀ごはん（8%）

※雑穀ごはんは、雑穀商品などでご案内されている一般的な混合割合で炊飯したものです。



第48回「消費者のためになった広告コンクール」

テレビ広告部門で金賞を受賞!!!

当社の企業CM「次の不はなんだろう・化粧品編」が社団法人日本アドバタイザーズ協会主催の第48回「消費者のためになった広告コンクール」テレビ部門において、金賞を受賞いたしました。「食品には製造年月日があるのに、なぜ化粧品にはないのだろう?」そんなお客さまの「不」を解消するべく、このCMでは当社の無添加化粧品に対する考え方をお伝えしています。このたびの受賞は、当社が創業以来貫いてきた「不」の解消という経営理念が改めて評価されたものだと思います。

TOPICS
トピックス

創業20周年を迎えたアテニア

当社の連結子会社アテニアが、今年で20周年を迎えました。肌にやさしいファンケルの理念はそのままに、「使ってみたい化粧品はなぜ高いの」という女性の声から、“高品質、高性能、リーズナブルプライス”のアテニア化粧品が誕生しました。これからも、「女性が本当に使いたい上質な化粧品を、無理なく毎日使い続けられる価格でお届けすること」を使命に、よりご満足いただける製品・サービスをお届けしてまいります。

「医療従事者のための機能性食品事典」が新登場

4年前に刊行した初版本「医療従事者のための機能性食品ガイド」は、医療の現場でのサプリメント認知啓蒙に役立つとともに、ファンケルの学術的水準の高さを証明しました。そして今回、内容を刷新した最新版を編纂。「成分事典」や「食品と医薬品の相互作用表」を掲載し、索引性を高めました。最新版も、さらに多くの医療従事者の方々にご活用いただけるよう、学会出展などの機会をとらえ積極的にPRしてまいります。

ファンケルのCSR活動

ファンケルの環境負荷低減活動

当グループでは、これまで化粧品の外箱裏面に能書を印刷することでの紙の削減、エコパック容器の開発など、製品・サービスの分野で環境対策を推進してまいりました。

平成21年度は、オフィス・工場・研究所の全事業所を対象とした「ファンケルECOプラン」を策定し、4月から3月までの1年間でCO_2排出量の前年比5%の削減を目標に掲げ、達成いたしました。さらに、従業員を対象に家庭における電気・ガスを節約し、環境負荷低減に貢献するCO_2排出削減の取り組み「ECOチャレンジ」を実施しております。今後も引き続き、企業としてだけではなく、社員一人ひとりが環境負荷低減に真摯に取り組んでまいります。

横浜開港150周年ボランティア

当社は、社員一人ひとりが社会貢献の意識をもち、社内外で行われるボランティア活動に参加することを積極的に支援しています。4月28日から開催されている横浜開港150周年イベント「開国博Y150」には、横浜発祥の企業として協賛しております。ボランティア活動に参加したいという社員のために、業務の一環としてボランティアに従事できるサポート体制を整えております。

「ファンケルグループ ファンケルレポート2009」の発刊

CSRの観点から、当グループの環境保全や社会貢献を中心とした取り組みを「ファンケルグループ ファンケルレポート2009」としてまとめました。

これからも、お客さま、株主さま、お取引先さま、従業員、社会といった全てのステークホルダーに対して、正直な気持ちで向き合い、強い信念をもって企業活動に取り組んでまいります。

「ファンケルグループ ファンケルレポート2009」は
当社ホームページでご覧いただけます。

http://www.fancl.co.jp/corporate/about/social

会社情報 （平成21年3月31日現在）

会社概要

会社名	株式会社ファンケル
英文名	FANCL CORPORATION
本店所在地	横浜市中区山下町89-1
電話番号	045-226-I200（代表）
設立	昭和56年8月
資本金	10,795百万円
従業員数	713名 （臨時従業員は除く）
主な取引銀行	三菱東京UFJ銀行 みずほコーポレート銀行 三井住友銀行

役　員（平成21年6月20日現在）

代表取締役 会長執行役員	宮島　和美
代表取締役 社長執行役員	成松　義文
取締役 常務執行役員	池森　行夫
取締役 執行役員	島田　和幸
取締役 執行役員	須釜　憲一
取締役 執行役員	村上　晴紀
取締役 執行役員	山岡　美奈子
取締役	飯田　順二
取締役	池田　憲人
常勤監査役	篠沢　利夫
常勤監査役	飛島　章
監査役	小関　勝紀
監査役	前田　正子

（注）1. 取締役の池田憲人氏は、社外取締役であります。
2. 監査役の飛島章、小関勝紀および前田正子の3氏は、社外監査役であります。

連結子会社一覧

会社名	住所	資本金	設立	議決権の所有割合	事業内容
ニコスター（株）	横浜市栄区	10百万円	昭和59年9月	100%	化粧品の製造・販売
（株）アテニア	横浜市栄区	150百万円	平成元年2月	100%	化粧品・栄養補助食品の販売
（株）ファンケル発芽玄米	長野県東御市	95百万円	平成11年8月	71.6%	発芽米の製造・販売
FANCL ASIA（PTE）LTD	シンガポール	875百万円	平成12年3月	100%	化粧品・栄養補助食品等の販売
（株）いいもの王国	東京都渋谷区	196百万円	昭和37年12月	81.6%	健康器具・家庭用雑貨等の販売
（株）ファンケル美健	横浜市栄区	100百万円	平成14年10月	100%	化粧品・栄養補助食品の製造
（株）シャローネ	香川県高松市	267百万円	昭和55年2月	90.0%	化粧品の製造
ニコスタービューテック（株）	横浜市栄区	10百万円	平成20年7月	100%（100%）	化粧品の製造

※議決権の所有割合の（　）内は、間接所有割合で内数であります。

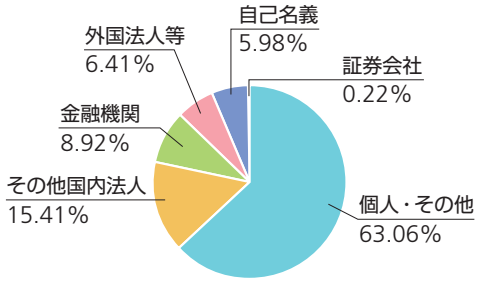
株式情報 （平成21年3月31日現在）

株式の状況

証券コード	4921（東証1部）
発行可能株式総数	233,838,000株
発行済株式の総数※	65,176,600株
株主数	87,469名

※平成20年11月28日付で、自己株式500万株を消却しております。

所有者別株式数の状況



株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月中
期末配当基準日	3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）
公告の方法	電子公告（当社ホームページ　http://www.fancl.co.jp/）

お知らせ　平成21年1月5日の株券電子化に伴い、株主さまからの各種お手続、お問合せにつきましては、下記のとおりとなりますのでご注意ください。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507　東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問合せ先		0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

株式会社ファンケル

横浜市中区山下町89-1 〒231-8528
Tel. 045-226-1200(代表)
www.fancl.co.jp

当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

Waterless Printing Naturally

Vegetable INK for waterless printing
Non Volatile Organic Compounds

FSC ミックス品
FSC認証林及び管理された
森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-003773
© 1996 Forest Stewardship Council